

2024年6月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号：8732 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長兼人事部長
 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2024年5月次 月次概況（速報）のお知らせ

2024年5月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	503	502	431	395	460	449	519	440	525	480	419	497
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,285	85,026	102,447	105,809	95,174	78,390	80,247	89,832	99,180	98,970	84,544	83,817
外国為替取引口座数 (単位：口座)	360,441	361,481	362,428	363,570	364,294	364,914	365,857	366,704	367,482	368,432	369,293	370,506
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	52,386	52,333	49,506	48,976	48,796	49,372	48,928	48,519	46,681	46,442	45,991	45,178
一般顧客	50,017	50,108	47,361	46,860	46,668	47,166	47,240	46,875	45,007	44,821	44,433	43,962
金融法人 (BtoB)	2,368	2,224	2,144	2,116	2,127	2,206	1,687	1,643	1,673	1,621	1,557	1,215
マネバカード口座数 (単位：口座)	154,562	154,386	154,304	154,276	154,275	154,273						

年月	2025年3月期											
	2024年									2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	556	454										
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	90,594	105,687										
外国為替取引口座数 (単位：口座)	371,199	372,637										
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	43,640	42,885										
一般顧客	42,611	41,887										
金融法人 (BtoB)	1,029	998										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月よりCFD-Metals取引（差金決済取引）の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引（差金決済取引）における預り証拠金及び取引高（売買代金を米ドルに換算）はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。
6. マネバカード事業（資金移動業）は、2023年9月29日をもってサービスを終了しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=157円台後半で取引が始まり、同日には月中高値となる一時158円台手前まで上昇しましたが、日銀の為替介入警戒感から急激な米ドル売りが進み一時153円台前半まで下落しました。翌日も156円台前半まで上昇するも為替介入警戒感が続いたことから米ドル売りが進み153円台前半まで下落、さらに3日には米4月雇用統計が市場予想より鈍化したこと等により月中安値となる一時151円台後半を付けました。その後は米ドル買いの相場で推移し14日には一時156円台後半を付けましたが、15日発表の米4月消費者物価指数(CPI)の弱い結果を受け米長期金利が低下し日米金利差の縮小が観測されたことや、16日発表の週間米新規失業保険申請件数が市場予想を上回ったことにより一時153円台半ばまで下落しました。17日以降は、米経済指標の良好な結果等により米ドルは少し値を戻し155円台前半から157円台後半の狭いレンジでの推移となり、157円台前半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、各通貨とも円に対して、米ドル同様に月初に大きな値幅(高安の差)で動き、その後は月末にかけて円安水準での推移となりました。

外国為替相場の変動率は、1日の平均値幅が米ドル/円においては1.203円(前月は1.089円)に拡大しましたが、その他の通貨ペアは前月より縮小したことから、全体として前月を下回りました。

このような状況の中、パートナーズFXnano(以下、nano)では、2023年10月2日より「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて、当社所定の注文数量までスプレッド0.0銭(売買同値)の提示を行っております。なかでも、「米ドル/円」ではスプレッド0.0銭(売買同値)での1回あたりの注文数量を1万通貨から5万通貨まで大幅拡大するキャンペーンを継続しており、4月22日からお取引時間を8時から翌4時まで拡大しております(その他の4通貨ペアは9時から翌3時まで)。加えて、「米ドル/円」の5万通貨超20万通貨までのお取引では、0.1銭及び0.2銭でご提供している時間帯をそれぞれ1時間拡大、「メキシコペソ/円」の3万通貨超20万通貨までのお取引では、0.1銭で提供している時間帯を14時から翌3時までと大幅に拡大しております。

パートナーズFX(以下、PFX)では、「米ドル/円」のスプレッド0.2銭の提示を20時間(8時から翌4時)に拡大し、ゴールデンマネパタイム(17時から翌3時まで)で主要通貨ペアを含む18通貨で業界最狭水準となるスプレッドキャンペーンを実施しておりましたが、4月15日から「米ドル/円」を含む主要10通貨ペアのキャンペーンスプレッドを標準化しました。この標準化した主要10通貨ペア以外でも、PFX・nanoともに業界最狭水準スプレッドのサービスを続行しております。

その他にも、所定の取引数量で毎週1回デジタルギフトをプレゼントするキャンペーンや日頃のお取引に感謝して新規約定数量に応じて獲得したキャンペーンポイントを特典と交換できる取引応援キャンペーン、新たに5月27日からは「豪ドル/円」をはじめ5通貨ペアを対象にキャンペーン対象期間中に約定した新規買建玉のスワップポイントを最大1ヵ月間大幅増額するキャンペーン等、様々なキャンペーンを実施しております。

まいにち金・銀(CFD-Metals)では、FXのゴールデンマネパタイムと同時間(17時から翌3時まで)に「金/米ドル」「銀/米ドル」ともスプレッドを0.2pipsで提示しております。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比17%増加の1,056億通貨単位となりました。営業収益はトレーディング損益及びシステム関連売上高が減少し、前月比18%減少の454百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分が共に減少し、全体では前月比755百万円減少の42,885百万円となりました。

配当に関しては、2024年3月15日開催の取締役会において2024年3月期の期末配当予想を1株当たり5.00円とすることを決議し、本年6月開催予定の定時株主総会において期末配当が承認された場合には年間配当11.00円となる見込みです。当社は2023年3月15日開催の取締役会において、配当性向の目途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っており、今回の期末配当の決議はかかる引き上げ後の配当性向の目途に基づいております。

当社は、2023年9月15日にスタンダード市場への選択申請書を提出し、10月20日にプライム市場からスタンダード市場へ移行しております。かかる選択申請にかかわらず、プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画に掲げた数値目標を据え置くこととし、その達成に向けた各種の取組みにつき適時適切に見直しながら継続的に実行していくことで、将来的にはプライム市場の新規上場基準をも充足する企業へと成長すべく、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

以上